

川内原子力発電所 海域モニタリング調査結果

令和6年度 秋季調査（流況、水温、水質、海生生物）

冬季調査（流況、水温、水質、底質、海生生物）

令和7年8月

九州電力株式会社

目 次

I 調査の概要	(ページ)
1 調査概要	1
2 調査期間中の川内原子力発電所運転状況	1
3 調査結果のまとめ	3
II 調査資料編	
1 流 況	5
2 水 温	8
3 水 質	37
4 底 質	43
5 海生生物	45
(1) 底 生 生 物	45
(2) 卵 ・ 稚 仔	47
(3) プランクトン	49

I 調査の概要

1 調査概要

川内原子力発電所周辺海域の令和6年度秋季、冬季における調査実施状況は次のとおりであり、調査測点位置を第1図に示す。

調査項目	調査の細目	秋 季 R 6. 10. 27 ～11. 20	冬 季 R 7. 1. 25 ～2. 14
流 況	流向・流速	○	○
水 温	① 水平分布 ② 鉛直分布	○	○
水 質	水温、水素イオン濃度、化学的酸素要求量（酸性法）、 溶存酸素量、浮遊物質、n-ヘキサン抽出物質、 塩分、透明度、全窒素、全りん	○	○
底 質	化学的酸素要求量、硫化物、強熱減量、粒度	—	○
海生生物	① 底生生物	—	○
	② 卵・稚仔	○	○
	③ プランクトン	○	○

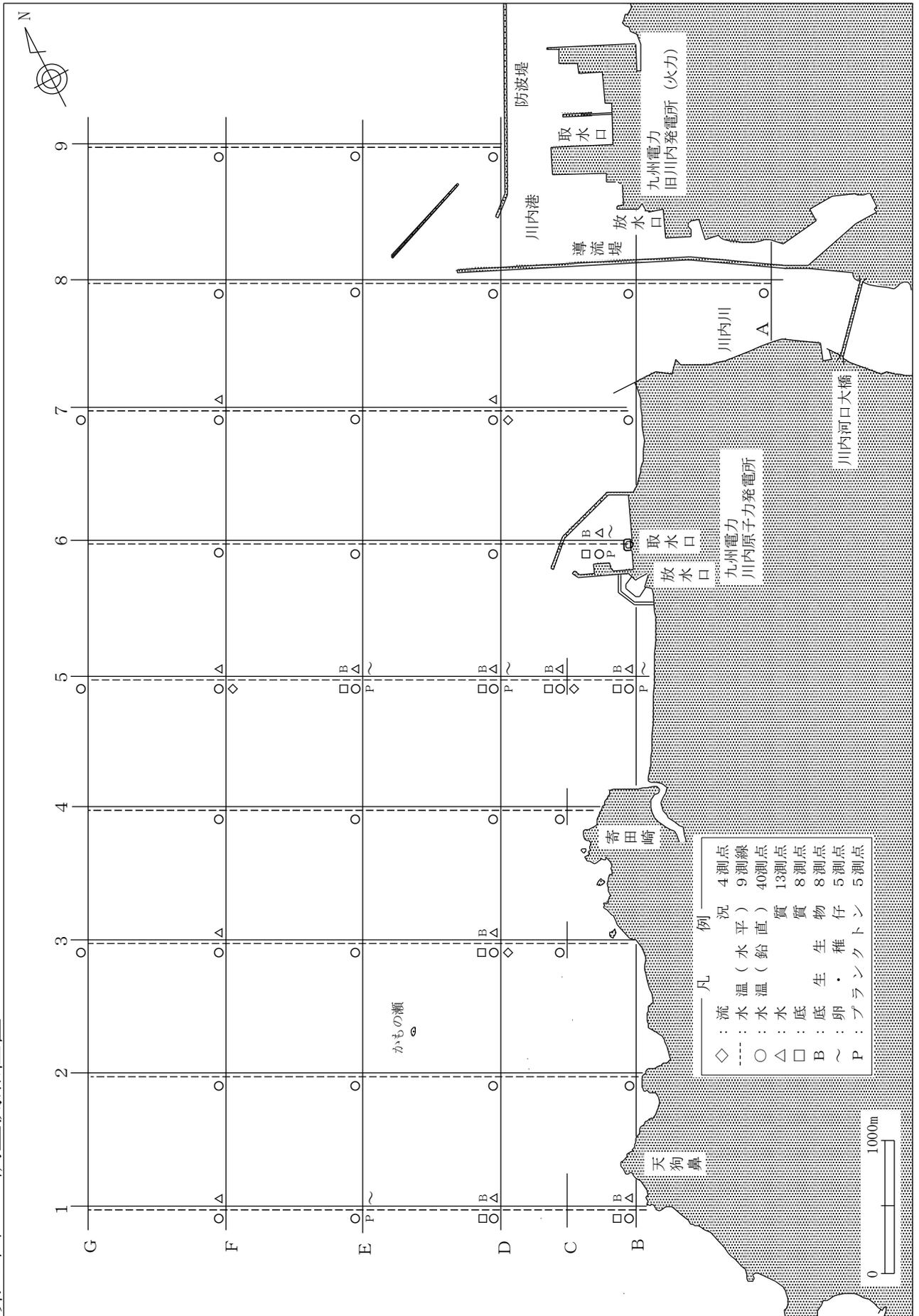
2 調査期間中の川内原子力発電所運転状況

令和6年度秋季、冬季における発電所運転状況は次のとおりである。

	秋 季 R 6. 10. 27～11. 20	冬 季 R 7. 1. 25～2. 14	備 考
1号機	定格熱出力一定運転中	定格熱出力一定運転中	H14. 3. 20より 定格熱出力一定運転導入
2号機	第27回定期検査中	定格熱出力一定運転中	H14. 6. 28より 定格熱出力一定運転導入

(注) 発電所の取放水方式は、「深層取水」・「表層放水」としている。

第1図 調査測点位置



3 調査結果のまとめ

[令和6年度秋季]

(1) 流況

調査海域の流向は、全般的に地形に沿った北北東と南から南西を主体とする流れがみられ、測点3-Dでは北北東と南南西から南西、測点5-Cでは南から南西、測点5-Fでは南南西から南西、測点7-Dでは北北東と西南西の流向頻度が高かった。

流速は、0～100 cm/s の範囲にあり、全般的に沖合及び南寄りの海域で大きく、放水口近傍と河口前面では0～20 cm/s の流れが主にみられた。

過去の調査結果と比較すると、流向、流速ともに概ね同様な結果であった。

(2) 水温

a 水平分布

調査海域の水温は 21～27℃台の範囲にあり、放水口前面から寄田崎前面にかけて 25～27℃台の水温が分布していた。また、河口部には 21～23℃台の水温が分布していた。温排水影響域は、過去の調査結果の変動の範囲内であった。

b 鉛直分布

調査海域No.5 測線の放水口近傍における鉛直断面水温は、22～27℃台の水温が分布していた。

(3) 水質

過去の調査結果と比較すると、全窒素が低かった。

その他の項目は過去の調査結果の変動の範囲内であった。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ・水素イオン濃度：8.17～8.23 | ・n-ヘキサン抽出物質：定量下限値未満(ND) |
| ・化学的酸素要求量：0.9～1.4mg/ℓ | ・全窒素：0.036～0.083mg/ℓ |
| ・溶存酸素量：7.14～7.83mg/ℓ | ・全りん：0.008～0.014mg/ℓ |

(4) 海生生物

a 卵・稚仔

過去の調査結果と比較すると、各項目ともに変動の範囲内であった。

- ・出現種数：卵14種、稚仔10種
- ・卵出現個数：165～1,470個/1,000m³
- ・稚仔出現個体数：10～26 個体/1,000m³

b プランクトン

過去の調査結果と比較すると、沈殿量と出現個体数が多かった。

その他の項目は過去の調査結果の変動の範囲内であった。

- ・出現種数：100種
- ・沈殿量：14.1～154.7ml/m³
- ・出現個体数：20,287～494,365 個体/m³

(5) まとめ

温排水影響域は放水口の周辺に限られており、また、流況、水質、海生生物も概ね過去の調査結果の変動の範囲内であった。

[令和6年度冬季]

(1) 流況

調査海域の流向は、全般的に地形に沿った北北東と南から南南西を主体とする流れがみられ、測点3-D、測点5-Fでは北北東と南から南南西、測点5-Cでは南から南西、測点7-Dでは北北東の流向頻度が高かった。

流速は、0～90 cm/s の範囲にあり、全般的に沖合及び南寄りの海域で大きく、放水口近傍と河口前面では0～30 cm/s の流れが主にみられた。

過去の調査結果と比較すると、流向、流速ともに概ね同様な結果であった。

(2) 水温

a 水平分布

調査海域の水温は13～24℃台の範囲にあり、放水口前面から寄田崎前面及び発電所前面にかけて18～24℃台の水温が分布していた。また、河口部には13～14℃及び16℃台の水温が分布していた。

温排水影響域は、過去の調査結果の変動の範囲内にあった。

b 鉛直分布

調査海域No.5測線の放水口近傍における鉛直断面水温は、15～22℃台の水温が分布していた。

(3) 水質

過去の調査結果と比較すると、各項目ともに変動の範囲内にあった。

- ・水素イオン濃度：8.16～8.21
- ・n-ヘキサン抽出物質：定量下限値未満(ND)
- ・化学的酸素要求量：0.9～1.2mg/ℓ
- ・全窒素：0.113～0.171mg/ℓ
- ・溶存酸素量：8.22～8.54mg/ℓ
- ・全りん：0.013～0.020mg/ℓ

(4) 底質

過去の調査結果と比較すると、各項目ともに変動の範囲内にあった。

- ・化学的酸素要求量：0.3～4.7mg/g 乾泥
- ・硫化物：定量下限値未満(ND)～0.05mg/g 乾泥
- ・強熱減量：1.5～5.6%

(5) 海生生物

a 底生生物

過去の調査結果と比較すると、各項目ともに変動の範囲内にあった。

- ・出現種数：57種
- ・出現個体数：14～67個体/0.15m²
- ・湿重量：0.11～5.22g/0.15m²

b 卵・稚仔

過去の調査結果と比較すると、各項目ともに変動の範囲内にあった。

- ・出現種数：卵8種、稚仔9種
- ・卵出現個数：47～335個/1,000m³
- ・稚仔出現個体数：43～530個体/1,000m³

c プランクトン

過去の調査結果と比較すると、各項目ともに変動の範囲内にあった。

- ・出現種数：71種
- ・沈殿量：1.7～12.6ml/m³
- ・出現個体数：3,660～58,943個体/m³

(6) まとめ

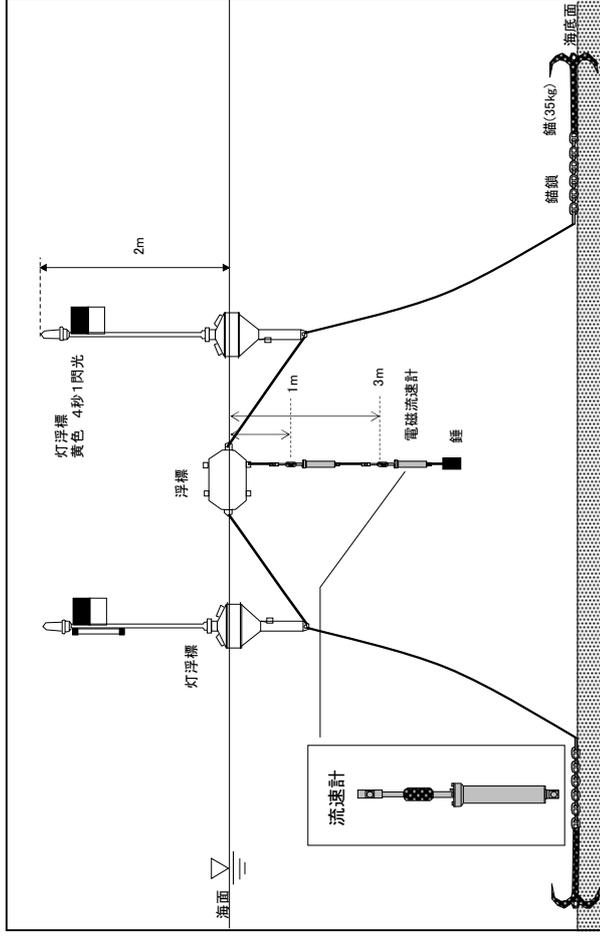
温排水影響域は放水口の周辺に限られており、また、流況、水質、底質、海生生物も概ね過去の調査結果の変動の範囲内にあった。

II 調査資料編

1 流況

(1) 流況調査方法

項目	内容
調査期間	秋季：令和6年10月27日～11月10日 冬季：令和7年1月25日～2月8日
測点	第1図に示す4測点
測定層	海面下1m、3mの2層
使用測器	電磁流速計 Infinity-EM (JFEアドバンテック(株)製)



流速計設置概要図（電磁流速計）

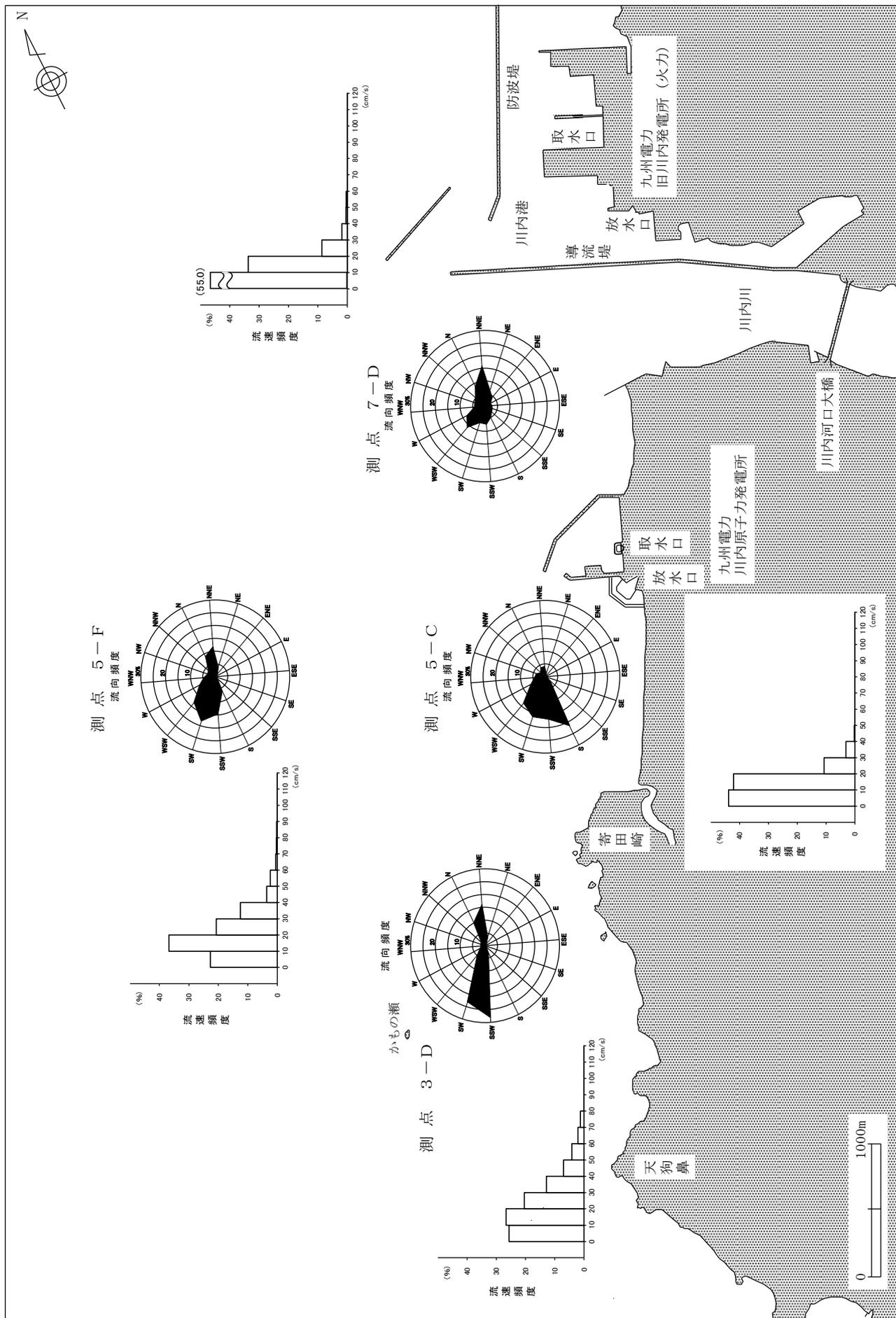
(2) 流況調査結果

調査海域の4測点で実施した海面下1m層の流況調査結果から、流向・流速頻度を第1-1、2図に示す。

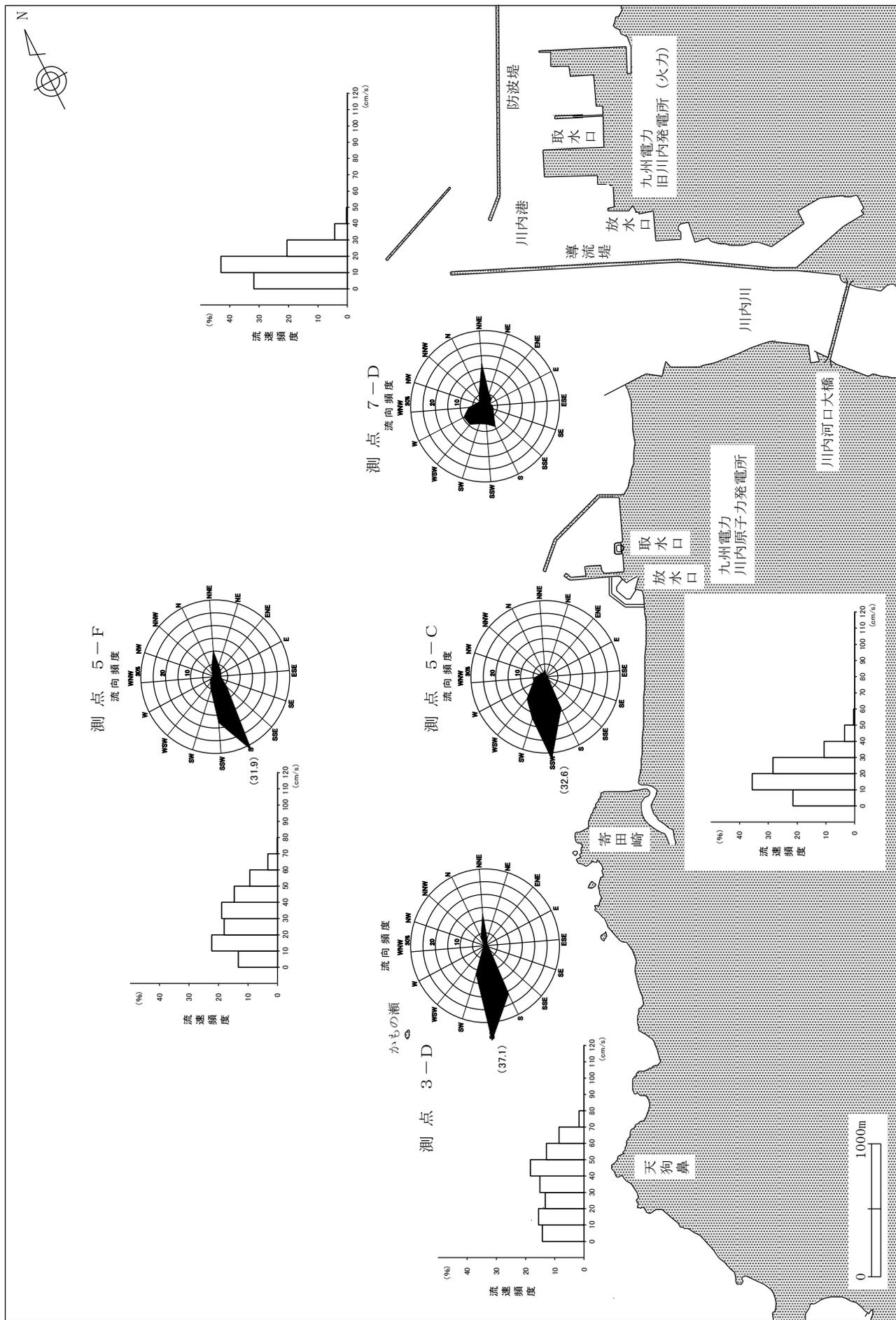
調査結果の概要

	秋季：令和6年10月27日～11月10日	冬季：令和7年1月25日～2月8日
全般	<ul style="list-style-type: none"> 過去の調査結果と比較すると、流向、流速ともに概ね同様な結果であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 過去の調査結果と比較すると、流向、流速ともに概ね同様な結果であった。
流向・流速	<ul style="list-style-type: none"> 調査海域の流向は、全般的に地形に沿った北北東と南から南西を主体とする流れがみられ、測点3-Dでは北北東と南南西から南西、測点5-Cでは南から南西、測点5-Fでは南南西から南西、測点7-Dでは北北東と西南西の流向頻度が高かった。 流速は、0～100cm/sの範囲にあり、全般的に沖合及び南寄りの海域で大きく、放水口近傍と河口前面では0～20cm/sの流れが主にみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査海域の流向は、全般的に地形に沿った北北東と南から南南西を主体とする流れがみられ、測点3-D、測点5-Fでは北北東と南から南南西、測点5-Cでは南から南西、測点7-Dでは北北東の流向頻度が高かった。 流速は、0～90cm/sの範囲にあり、全般的に沖合及び南寄りの海域で大きく、放水口近傍と河口前面では0～30cm/sの流れが主にみられた。

第1-1図 流向・流速頻度 (秋季、海面下1m層)



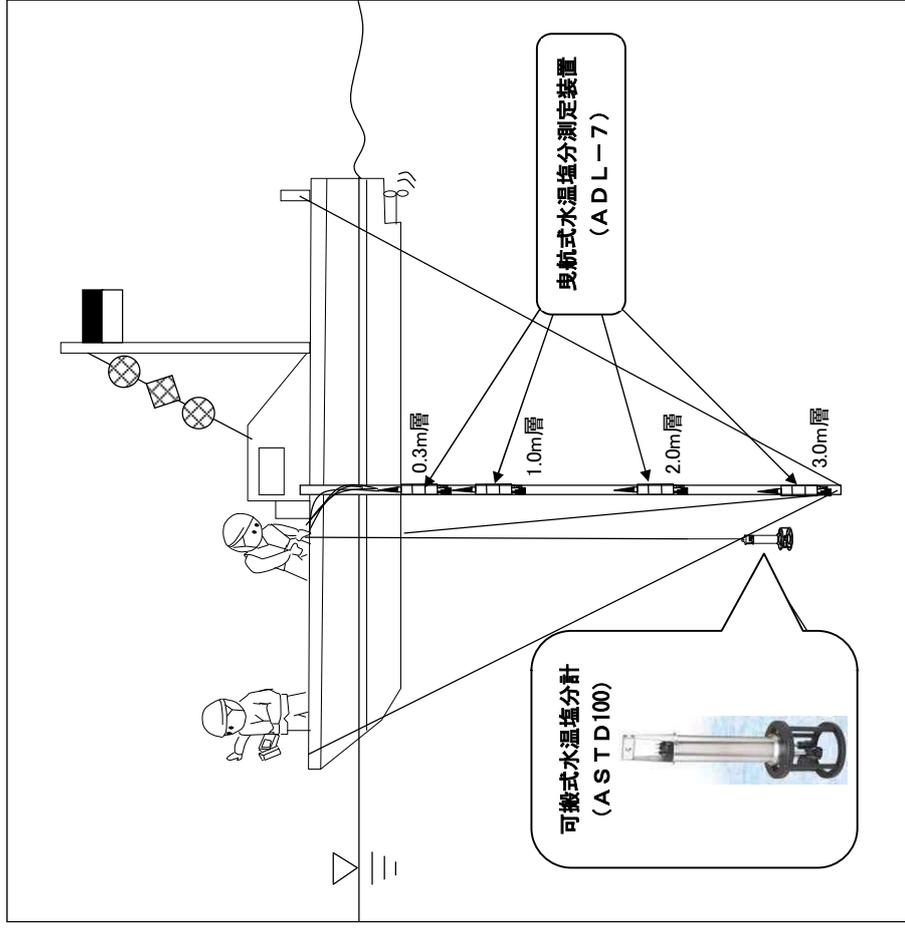
第1-2図 流向・流速頻度 (冬季、海面下1m層)



2 水温

(1) 水温調査方法

項目	内容	容
調査日	秋季：令和6年11月19日 冬季：令和7年1月31日	
測定潮時	満潮時、下げ潮時、干潮時、上げ潮時の4潮時	
調査項目	水平分布測定	鉛直分布測定
測線及び測点	第1図に示す9測線	第1図に示す40測点
測定層	海面下0.3m、1.0m、2.0m、3.0mの4層	海面下0.3m、1m、2m、3m、4m、5m、7m、10m、15m、～(5mピッチ)～海底上1m
使用計器	曳航式水温塩分測定装置 ADL-7 (JFEアドバンテック(株)製)	可搬式水温塩分計 ASTD100 (JFEアドバンテック(株)製)



水温調査概要図

(2) 水温調査結果

a 水温水平分布

調査海域の海面下0.3m層で実施した満潮時、下げ潮時、干潮時及び上げ潮時の水温水平分布結果を第2-1-1～1-8図に示す。また、過去7年の温排水拡散域を第2-2-1～2-8図に、モニタリング全期間の温排水分布状況を第2-3図に示す。

調査結果の概要(1)

調査時期 潮時	秋		過去との比較
	今回(令和6年11月19日)	発電所運転状況: 1号機 定格熱出力一定運転中 2号機 第27回定期検査中	
全般	調査海域の水温は21～27℃台の範囲にあり、放水口前面から寄田崎前面にかけて25～27℃台の水温が分布していた。 また、河口部には21～23℃台の水温が分布していた。		今年度調査時の温排水影響域は、過去の範囲内にあった。
満潮時	調査海域の水温は22～27℃台の範囲にあり、放水口前面から寄田崎前面にかけて25～27℃台の水温が分布し、放水口沖合約0.7kmまでみられた。 また、河口部には23℃台の水温が分布していた。		温排水は令和2年度を除く調査年で認められ、放水口前面から寄田崎前面、中央沖合、発電所前面、発電所沖合、河口前面及び河口沖合にかけて扇状または舌状に分布していた。 今年度調査時の温排水影響域は、過去の範囲内にあった。
下げ潮時	調査海域の水温は21～27℃台の範囲にあり、放水口前面から寄田崎前面にかけて25～27℃台の水温が分布し、放水口沖合約0.9kmまでみられた。 また、河口部には21℃台の水温が分布していた。		温排水は令和2年度を除く調査年で認められ、放水口前面から寄田崎前面及び発電所前面にかけて扇状または舌状に分布していた。 今年度調査時の温排水影響域は、過去の範囲内にあった。
干潮時	調査海域の水温は21～26℃台の範囲にあり、放水口前面から寄田崎前面にかけて25～26℃台の水温が分布し、放水口沖合約0.6kmまでみられた。 また、河口部には21～22℃台の水温が分布していた。		温排水は令和2年度を除く調査年で認められ、放水口前面から寄田崎前面、寄田崎沖合、天狗鼻前面、中央沖合及び発電所前面にかけて扇状または舌状に分布していた。 今年度調査時の温排水影響域は、過去の範囲内にあった。
上げ潮時	調査海域の水温は21～27℃台の範囲にあり、放水口前面に25～27℃台の水温が分布し、放水口沖合約0.8kmまでみられた。 また、河口部には23℃台の水温が分布していた。		温排水は令和2年度を除く調査年で認められ、放水口前面から寄田崎前面、寄田崎沖合、中央沖合、発電所前面、発電所沖合、河口前面及び河口沖合にかけて扇状または舌状に分布していた。 今年度調査時の温排水影響域は、過去の範囲内にあった。

調査結果の概要 (2)

調査時期 潮時	冬		季
	今回 (令和7年1月31日)		過去との比較
	発電所運転状況：1号機 定格熱出力一定運転中 2号機 定格熱出力一定運転中		
全般	調査海域の水温は 13～24℃台の範囲にあり、放水口前面から寄田崎前面及び発電所前面にかけて 18～24℃台の水温が分布していた。また、河口部には 13～14℃及び 16℃台の水温が分布していた。		今年度調査時の温排水影響域は、過去の範囲内にあった。
満潮時	調査海域の水温は 16～22℃台の範囲にあり、放水口前面から寄田崎前面及び発電所前面にかけて 18～22℃台の水温が分布し、放水口沖合約 0.9 km までみられた。また、河口部には 16℃台の水温が分布していた。		温排水は放水口前面から寄田崎前面及び発電所前面にかけて扇状に分布していた。 今年度調査時の温排水影響域は、過去の範囲内にあった。
下げ潮時	調査海域の水温は 16～22℃台の範囲にあり、放水口前面から寄田崎前面にかけて 19～22℃台の水温が分布し、放水口沖合約 0.8 km までみられた。また、河口部には 16℃台の水温が分布していた。		温排水は放水口前面から寄田崎前面、寄田崎沖合及び発電所前面にかけて扇状または舌状に分布していた。 今年度調査時の温排水影響域は、過去の範囲内にあった。
干潮時	調査海域の水温は 13～23℃台の範囲にあり、放水口前面から寄田崎前面及び発電所前面にかけて 19～23℃台の水温が分布し、放水口沖合約 1.0 km までみられた。また、河口部には 13～14℃台の水温が分布していた。		温排水は放水口前面から寄田崎前面、寄田崎沖合、天狗鼻前面、天狗鼻沖合、中央沖合及び発電所前面にかけて扇状または舌状に分布していた。 今年度調査時の温排水影響域は、過去の範囲内にあった。
上げ潮時	調査海域の水温は 13～24℃台の範囲にあり、放水口前面から寄田崎前面及び発電所前面にかけて 19～24℃台の水温が分布し、放水口沖合約 1.4 km までみられた。また、河口部には 13～14℃台の水温が分布していた。		温排水は放水口前面から寄田崎前面、中央沖合、発電所前面、発電所沖合及び河口沖合にかけて扇状または舌状に分布していた。 今年度調査時の温排水影響域は、過去7年に比べて発電所前面、寄田崎前面で広い分布であった。

(温排水影響域)

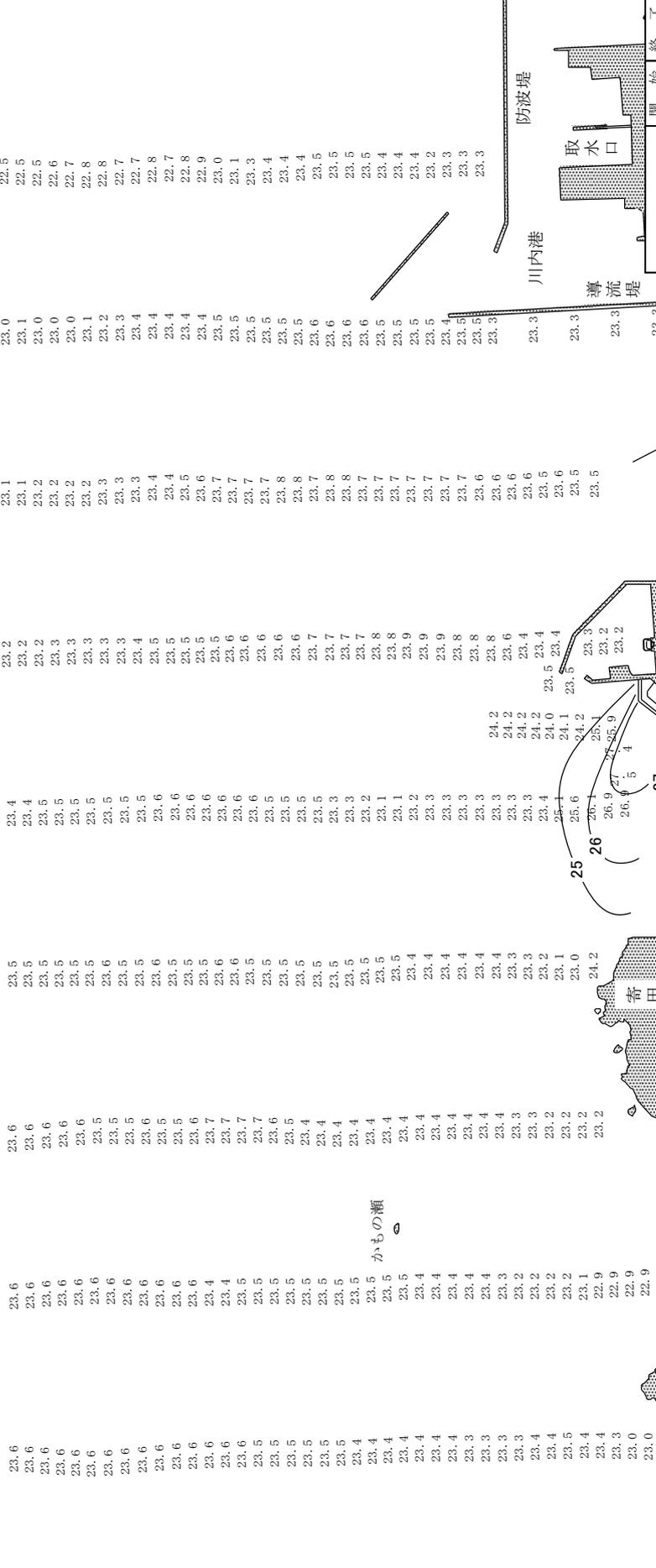
温排水や河川水等の影響のない海域の平均水温を環境水温とし、環境水温より 1℃以上昇温した海域のうち、放水口から連続して水温が低減していく範囲を温排水影響域とする。

第2-1-1図

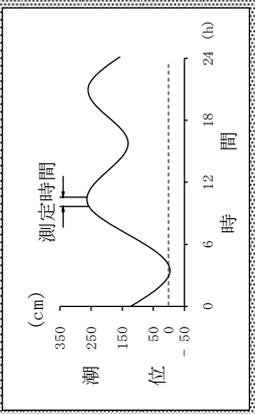
水温水平分布 (秋季、満潮時)

調査年月日：令和6年11月19日

測定層：海面下 0.3m層



測定時間	9:30	10:25
出力	1号機 949	2号機 0
(MW)		
取水口水温 (°C)	23.2	23.2
放水口水温 (°C)	27.6	27.1
放水水量 (t/s)	63.6	
天気	晴	晴
気温 (°C)	15.0	16.2
湿度 (%)	71	68
風速 (m/s)	NNW	NNW
風向	NNW	NNW
風速 (m/s)	2.5	4.2
うねり	階級 3	3
うねり	階級 1	1
日射量	1.409	1.643
(J/cm ² ・min)		
1号機 定格熱出力一定運転中		
2号機 第27回定期検査中		

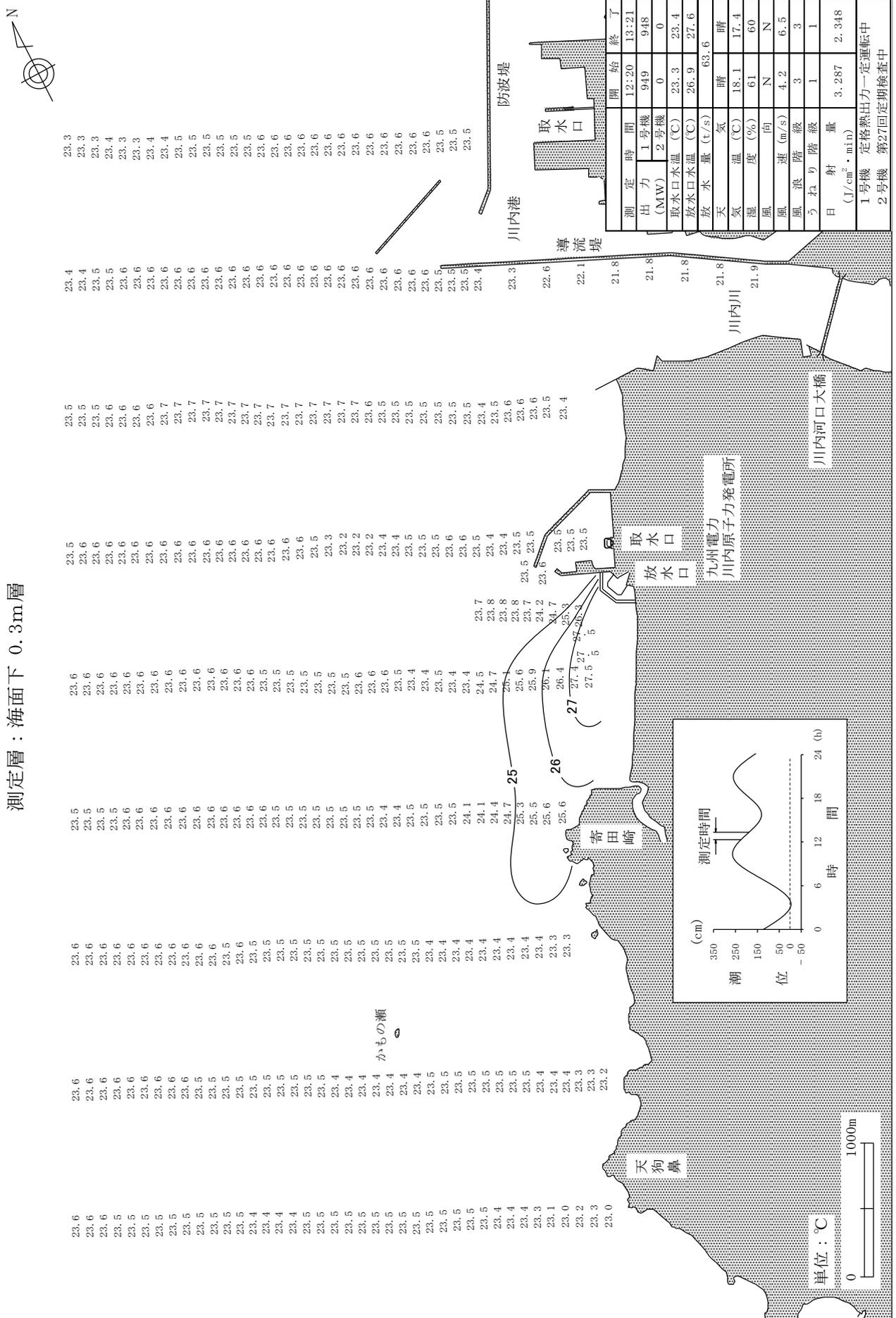


第2-1-2図

水温水平分布 (秋季、下げ潮時)

調査年月日：令和6年11月19日

測定層：海面下 0.3m層

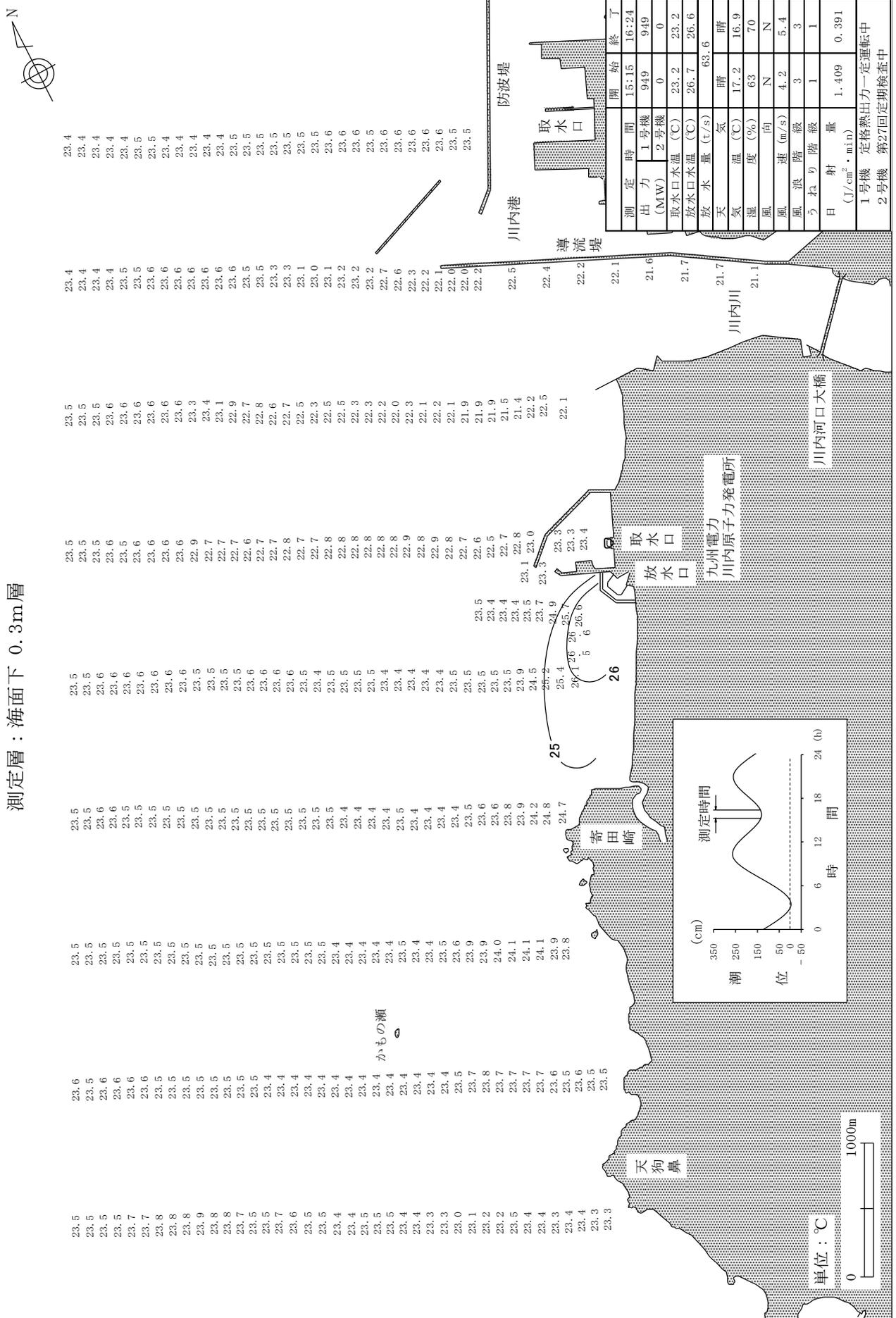


第2-1-3図

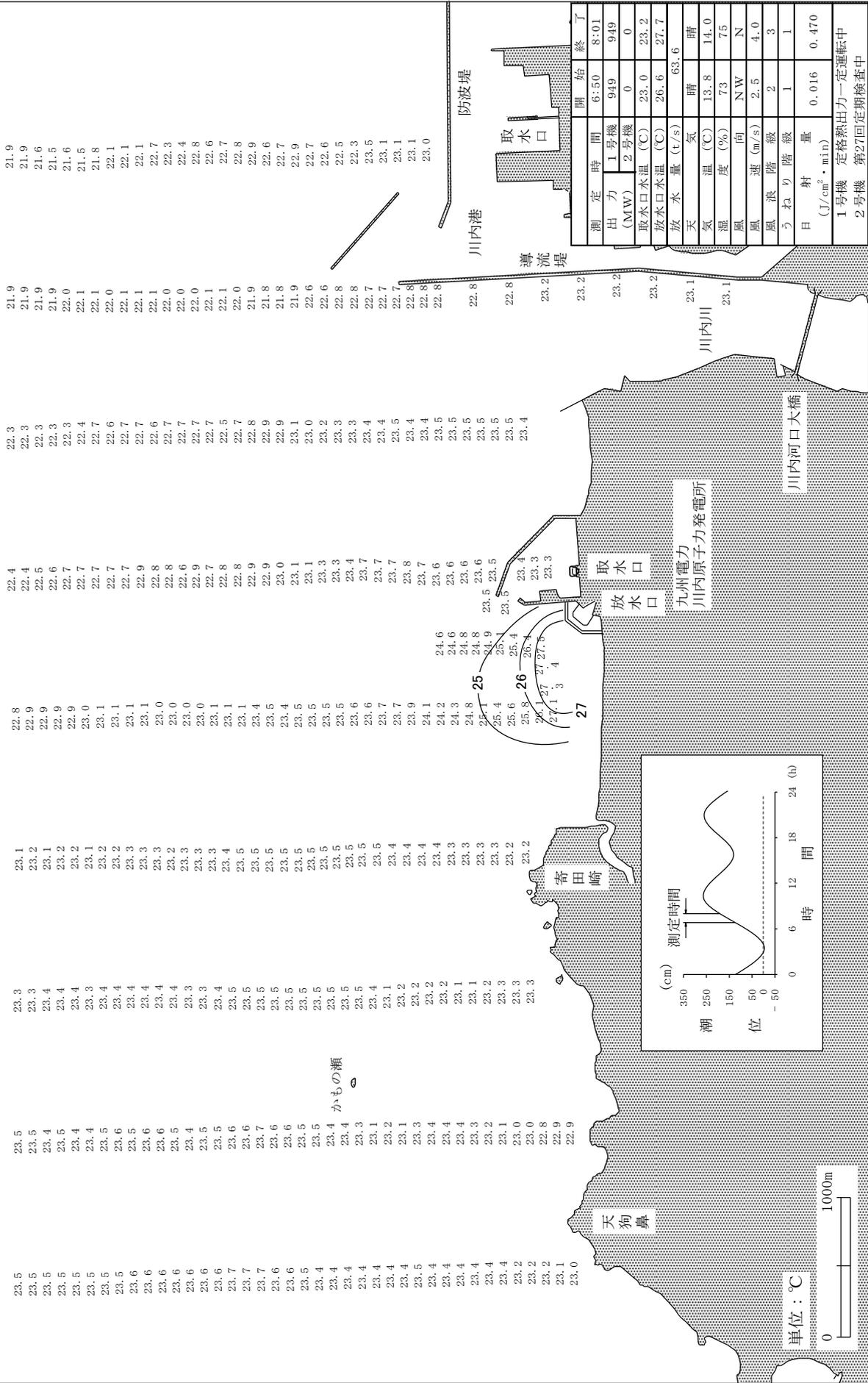
水温水平分布 (秋季、干潮時)

調査年月日：令和6年11月19日

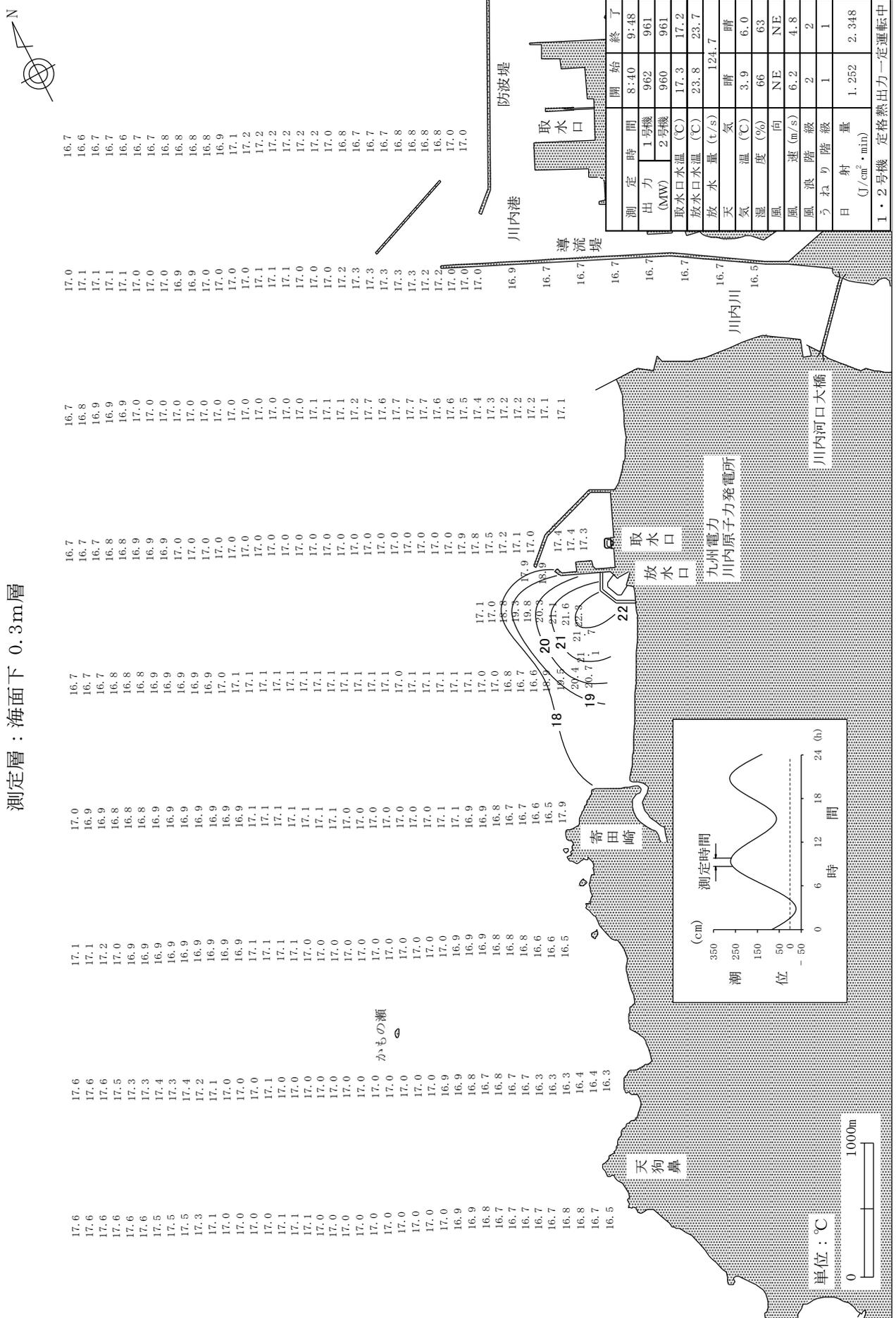
測定層：海面下 0.3m層



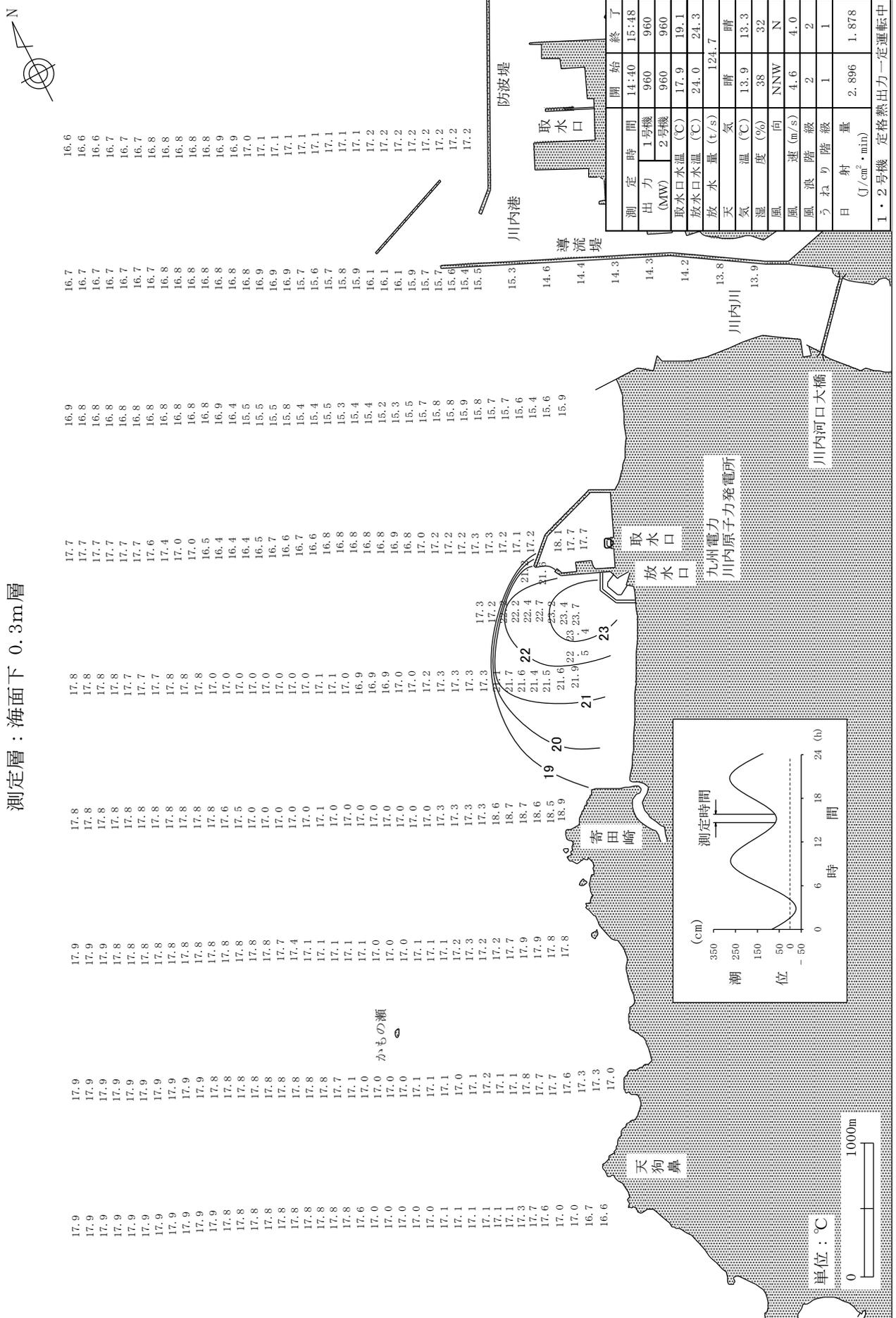
測定層：海面下 0.3m層



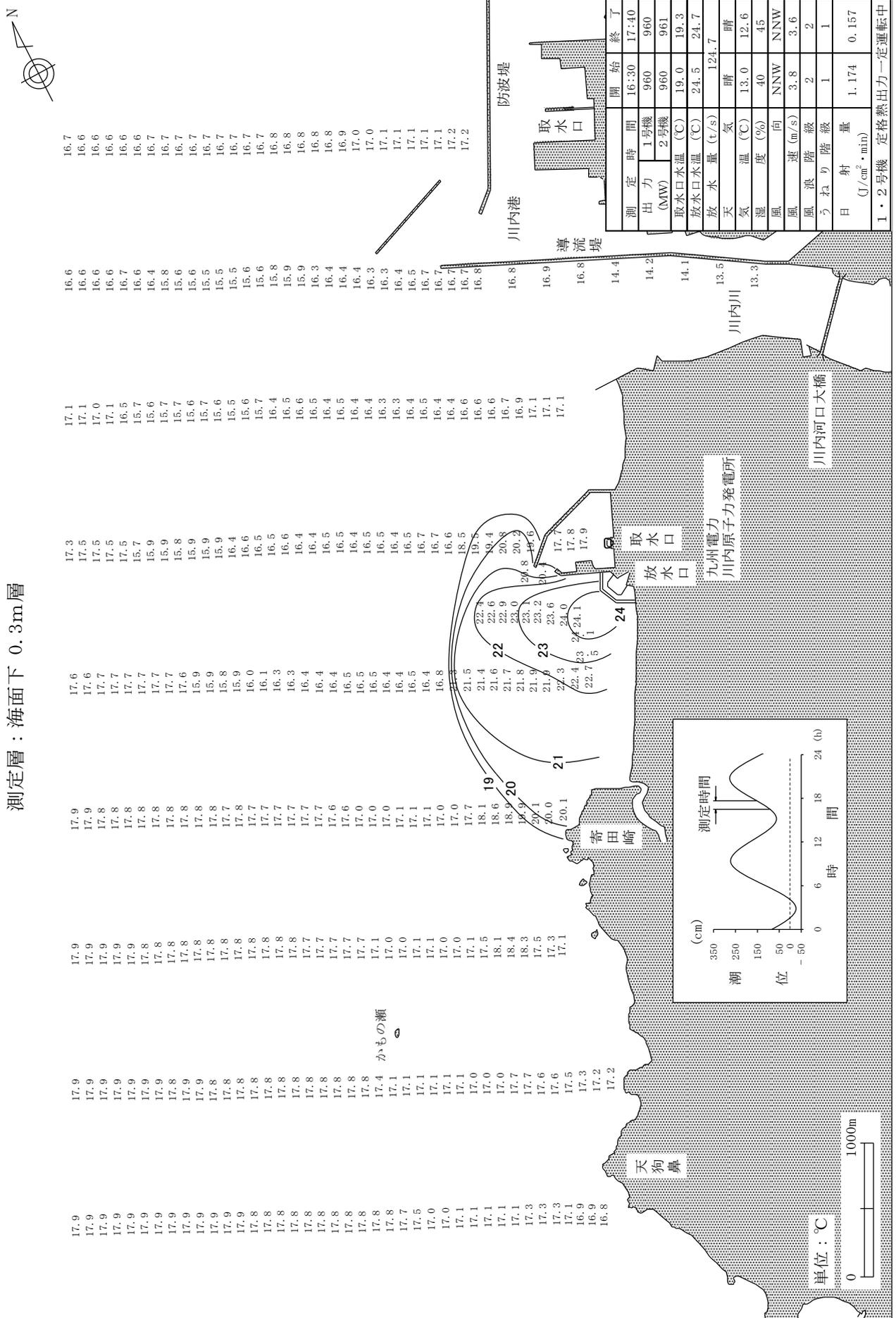
測定層：海面下 0.3m層



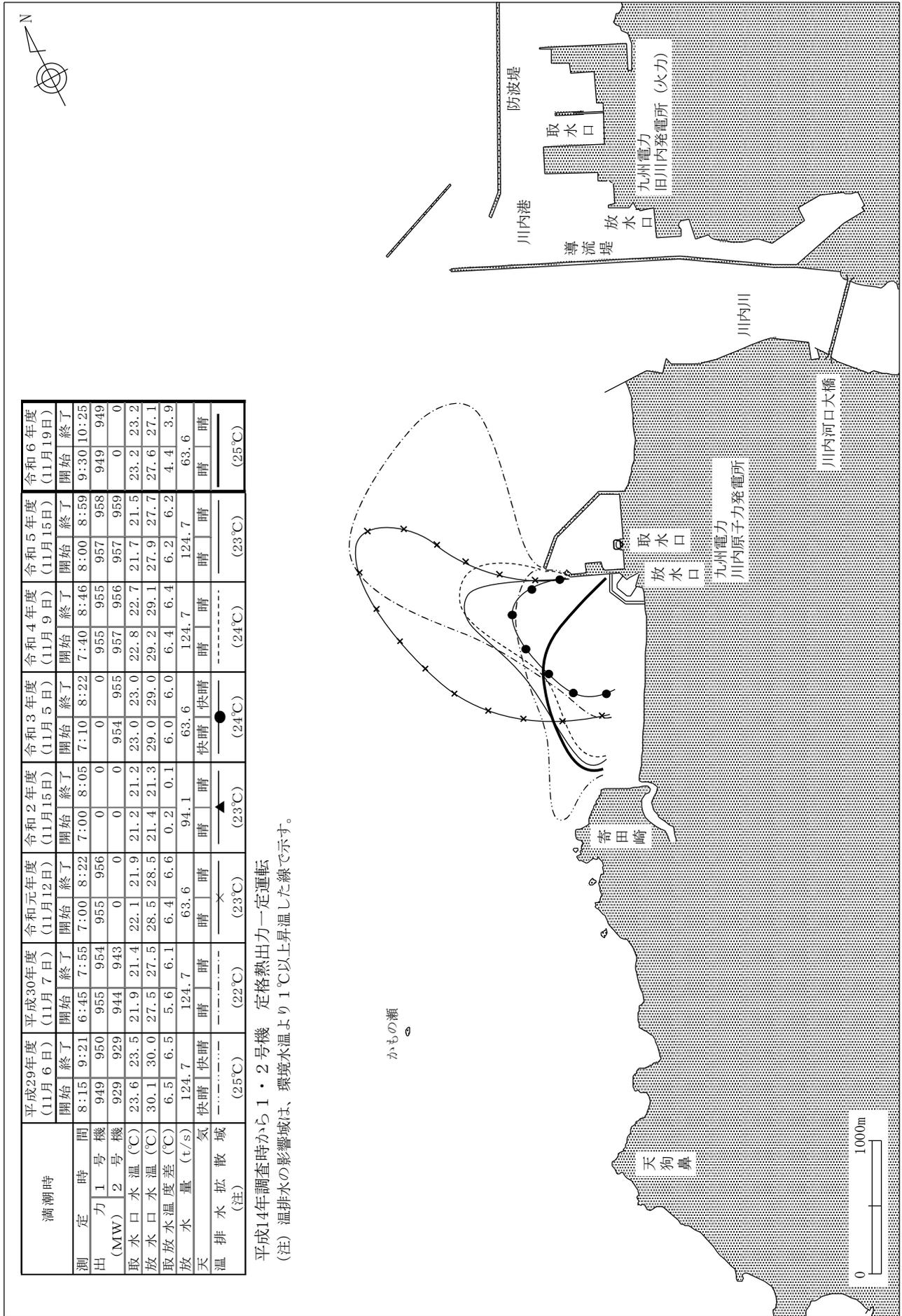
測定層：海面下 0.3m 層



測定層：海面下 0.3m層



第2-2-1 図 平成29年度～令和6年度秋季表層（海面下0.3m）温排水拡散域（満潮時）



(注) 令和2年度は1・2号機ともに定期検査中につき、温排水影響域は認められなかった。

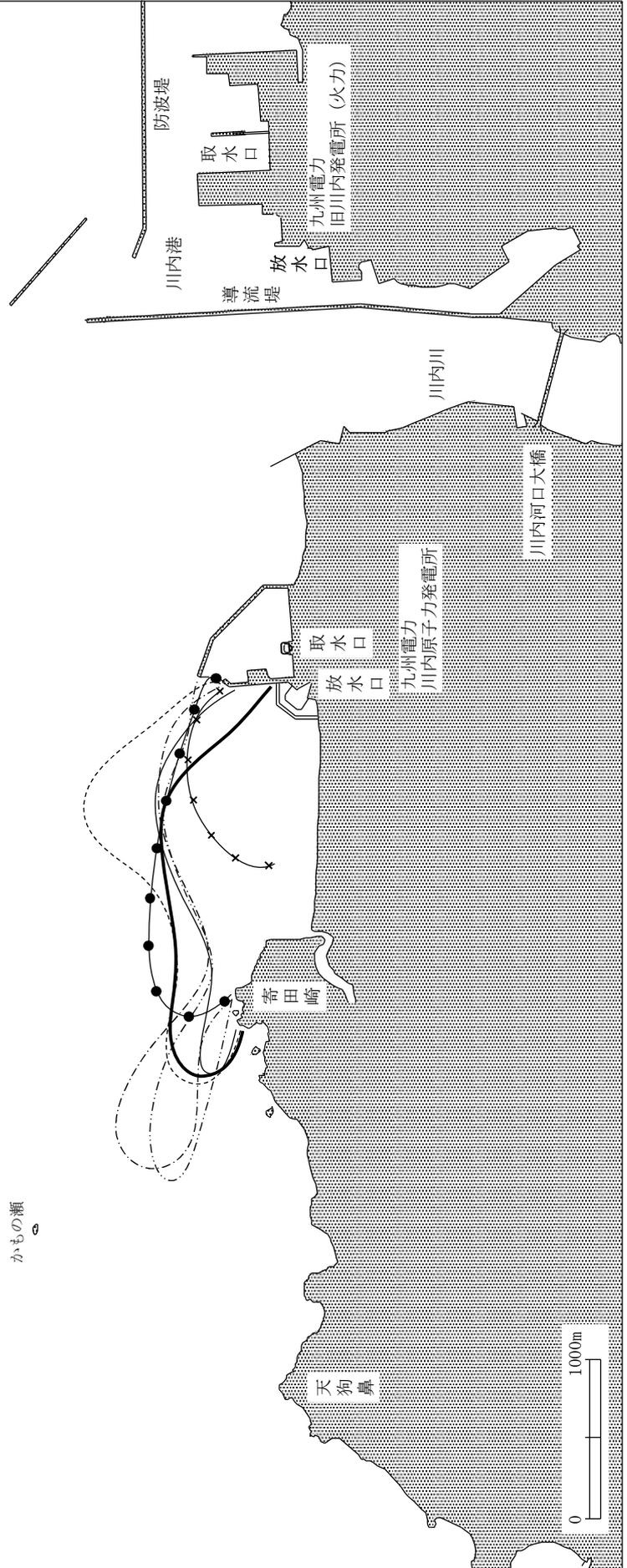
第2-2-2図 平成29年度～令和6年度秋季表層（海面下0.3m）温排水拡散域（下げ潮時）

下げ潮時	平成29年度 (11月6日)		平成30年度 (11月7日)		令和元年度 (11月12日)		令和2年度 (11月15日)		令和3年度 (11月5日)		令和4年度 (11月9日)		令和5年度 (11月15日)		令和6年度 (11月19日)	
	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了
測定時間	11:15	12:11	9:45	10:52	10:00	11:12	10:00	11:05	10:10	11:10	10:15	11:19	10:45	11:47	12:20	13:21
出力1号機 (MW)	949	949	954	953	955	956	0	0	0	0	955	954	958	956	949	948
出力2号機 (MW)	929	928	944	944	0	0	0	0	954	954	956	957	958	957	0	0
取水口水温 (°C)	23.6	23.5	21.2	21.3	21.9	22.0	21.3	21.3	23.0	23.0	22.8	22.8	21.5	21.5	23.3	23.4
放水口水温 (°C)	30.0	30.1	27.4	27.7	28.6	28.7	21.4	21.4	29.0	29.0	29.2	29.3	27.8	27.8	26.9	27.6
取放水温度差 (°C)	6.4	6.6	6.2	6.4	6.7	6.7	0.1	0.1	6.0	6.0	6.4	6.5	6.3	6.3	3.6	4.2
放水量 (t/s)	124.7	124.7	124.7	124.7	64.2	94.1	94.1	94.1	63.6	63.6	124.7	124.7	124.7	124.7	63.6	63.6
天気	快晴	快晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	快晴	快晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
温排水拡散域 (注)	-----		-----		-----		-----		●		-----		-----		-----	
	(25°C)		(23°C)		(24°C)		(23°C)		(24°C)		(24°C)		(23°C)		(25°C)	

平成14年調査時から1・2号機 定格熱出力一定運転

(注) 温排水の影響域は、環境水温より1°C以上昇温した線で示す。

かもの瀬



(注) 令和2年度は1・2号機ともに定期検査中につき、温排水影響域は認められなかった。

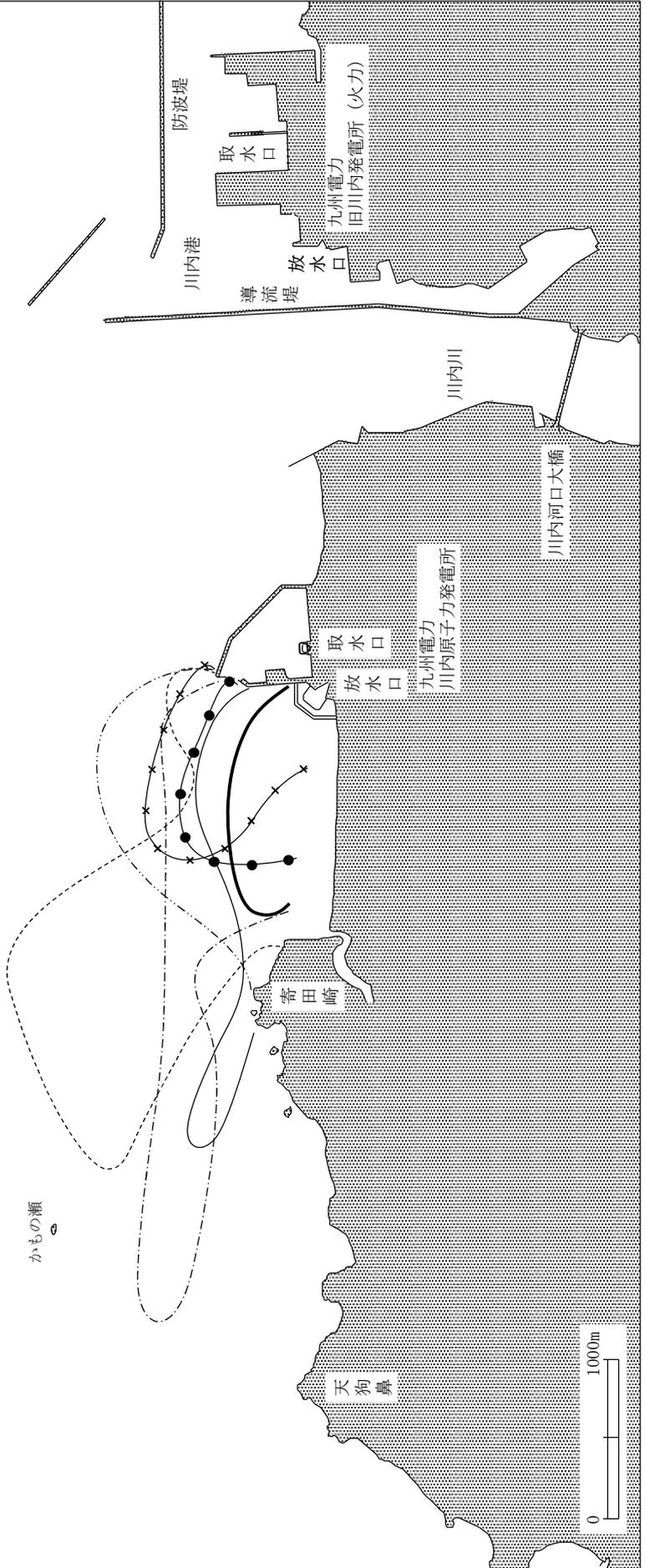
第2-2-3図 平成29年度～令和6年度秋季表層（海面下0.3m）温排水拡散域（干潮時）

干潮時	平成29年度 (11月6日)		平成30年度 (11月7日)		令和元年度 (11月12日)		令和2年度 (11月15日)		令和3年度 (11月5日)		令和4年度 (11月9日)		令和5年度 (11月15日)		令和6年度 (11月19日)	
	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了
測定時間	14:15	15:17	12:45	13:46	13:00	14:02	13:05	14:08	13:20	14:24	13:30	14:26	14:10	15:16	15:15	16:24
出力1号機 (MW)	948	948	953	952	955	954	0	0	0	954	954	954	956	957	949	949
出力2号機 (MW)	927	927	942	882*	0	0	0	0	954	952	949*	880*	957	956	0	0
取水口水温 (°C)	24.8	25.1	22.9	22.2	22.2	22.9	21.5	21.4	23.3	23.7	24.0	24.0	22.2	22.7	23.2	23.2
放水口水温 (°C)	30.7	30.9	28.3	28.3	28.8	29.0	21.5	21.5	29.4	29.5	29.5	29.7	28.3	28.5	26.7	26.6
取放水温度差 (°C)	5.9	5.8	5.4	6.1	6.6	6.1	0.0	0.1	6.1	5.8	5.5	5.7	6.1	5.8	3.5	3.4
放水量 (t/s)	124.7	124.7	124.7	124.7	64.2	94.1	94.1	94.1	63.6	63.6	124.7	124.7	124.7	124.7	63.6	63.6
天候	快晴	快晴	晴	晴	快晴	快晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
温排水拡散域 (注)	----	----	----	----	----	----	▲	----	●	----	----	----	----	----	----	----

平成14年調査時から1・2号機 定格熱出力一定運転

※タービン各弁ステムフリー試験に伴う出力調整

(注) 温排水の影響域は、環境水温より1°C以上昇温した線で示す。



(注) 令和2年度は1・2号機ともに定期検査中につき、温排水影響域は認められなかった。

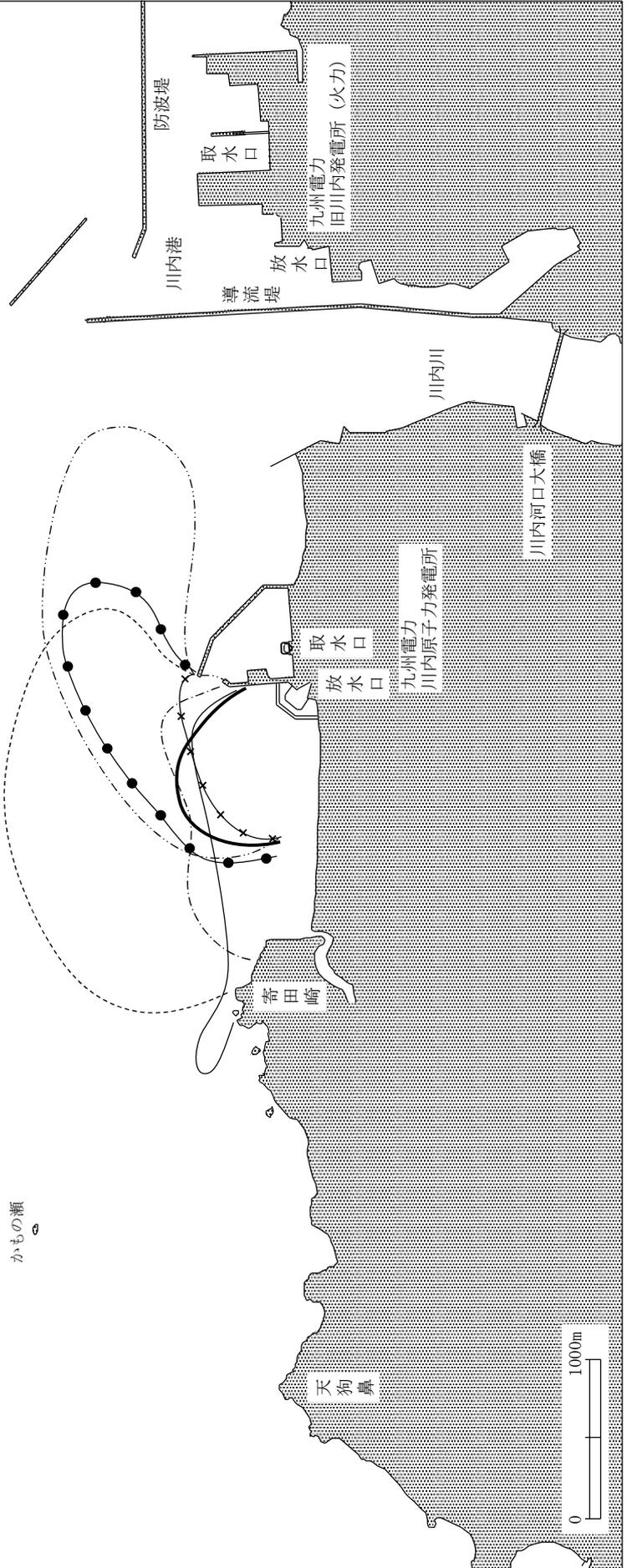
第2-2-4図 平成29年度～令和6年度秋季表層（海面下0.3m）温排水拡散域（上げ潮時）

上げ潮時	平成29年度 (11月6日)	平成30年度 (11月7日)	令和元年度 (11月12日)	令和2年度 (11月15日)	令和3年度 (11月5日)	令和4年度 (11月9日)	令和5年度 (11月15日)	令和6年度 (11月19日)
	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了
測定時間	16:30 17:33	15:45 16:45	16:00 16:57	16:00 16:57	16:00 17:00	16:15 17:12	16:15 17:18	16:50 8:01
出力1号機 (MW)	948	954	954	954	0	953	956	949
出力2号機 (MW)	927	928	921*	941*	0	954	957	957
取水口水温(°C)	25.7	24.3	22.8	23.2	21.6	23.8	22.7	23.0
放水口水温(°C)	31.0	30.8	28.0	28.1	29.5	29.8	28.6	28.4
取放水温度差(°C)	5.3	6.5	5.2	4.9	0.0	5.8	5.9	3.6
放水量(t/s)	124.7	124.7	64.2	94.1	63.6	124.7	124.7	63.6
天気	快晴	晴	晴	晴	曇	晴	晴	晴
温排水拡散域(注)	----	----	---	---	●	----	----	----
	(25°C)	(23°C)	(24°C)	(23°C)	(24°C)	(25°C)	(23°C)	(25°C)

平成14年調査時から1・2号機 定格熱出力一定運転

※タービン各弁ステムフリー試験に伴う出力調整

(注) 温排水の影響域は、環境水温より1°C以上昇温した線を示す。



(注) 令和2年度は1・2号機ともに定期検査中につき、温排水影響域は認められなかった。

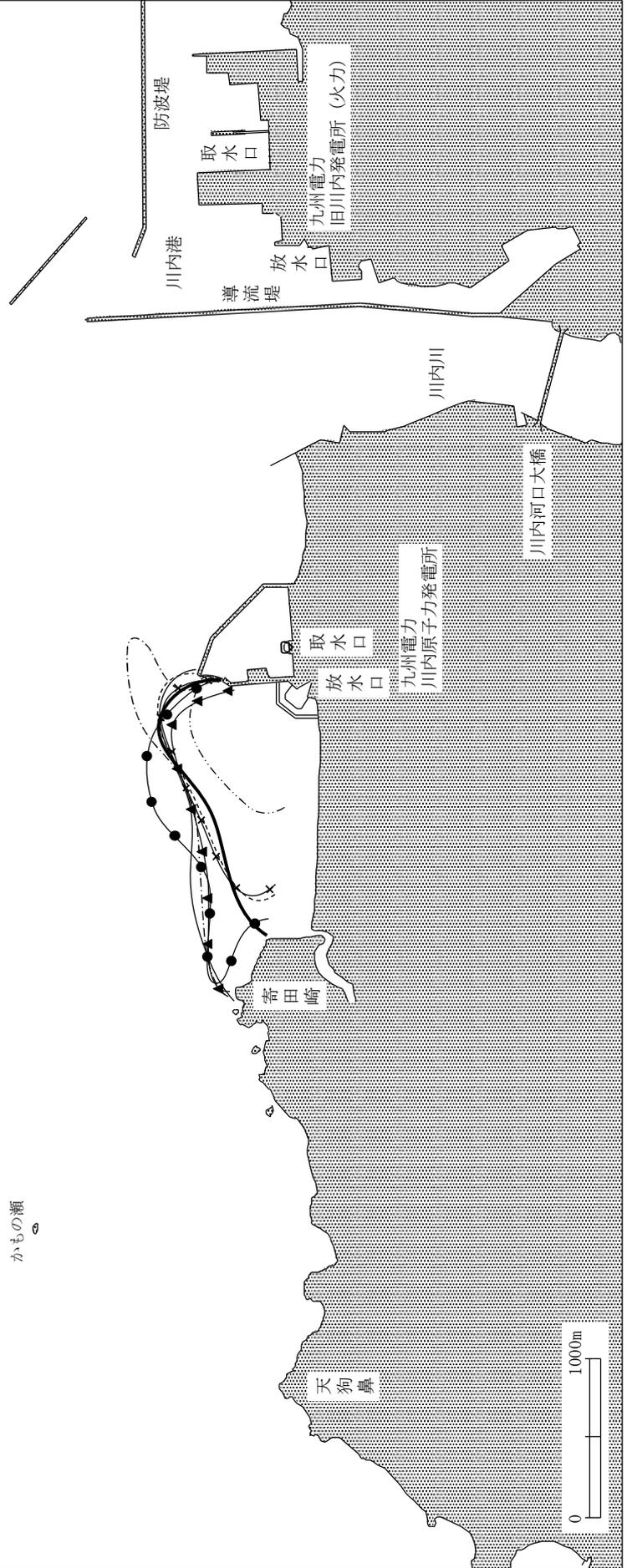
第2-2-5図 平成29年度～令和6年度冬季表層（海面下0.3m）温排水拡散域（満潮時）

満潮時	平成29年度 (1月31日)		平成30年度 (2月5日)		令和元年度 (2月11日)		令和2年度 (2月12日)		令和3年度 (2月3日)		令和4年度 (2月6日)		令和5年度 (2月24日)		令和6年度 (1月31日)	
	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了
測定時間	7:15	8:14	8:00	9:10	8:50	9:48	8:00	9:11	9:10	10:18	8:00	9:08	7:30	8:42	8:40	9:48
出力1号機 (MW)	0	959	952	958	963	963	960	960	962	962	961	961	959	959	962	961
出力2号機 (MW)	934	933	952	952	957	956	961	961	961	960	962	962	961	961	960	961
取水口水温 (°C)	14.3	14.3	17.4	16.8	16.7	16.6	16.5	16.4	17.9	17.6	17.8	17.7	19.1	18.9	17.3	17.2
放水口水温 (°C)	19.7	19.5	23.3	23.3	23.1	23.1	22.6	22.6	23.5	23.7	24.0	24.0	25.4	25.3	23.8	23.7
取放水温度差 (°C)	5.4	5.2	5.9	6.5	6.4	6.5	6.1	6.2	5.6	6.1	6.2	6.3	6.3	6.4	6.5	6.5
放水量 (t/s)	95.3		124.7		124.7		124.7		124.7		124.7		124.7		124.7	
天気	晴	晴	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	晴	晴
温排水拡散域 (注)	---		---		---		▲		●		---		---		---	
	(16°C)		(18°C)		(18°C)		(18°C)		(19°C)		(19°C)		(20°C)		(18°C)	

平成14年調査時から1・2号機 定格熱出力一定運転

(注) 温排水の影響域は、環境水温より1°C以上昇温した線で示す。

かもの瀬



第2-2-7図 平成29年度～令和6年度冬季表層（海面下0.3m）温排水拡散域（干潮時）

干潮時	平成29年度 (1月31日)	平成30年度 (2月5日)	令和元年度 (2月11日)	令和2年度 (2月12日)	令和3年度 (2月3日)	令和4年度 (2月6日)	令和5年度 (2月24日)	令和6年度 (1月31日)
	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了
測定時間	13:15 14:11	14:00 15:10	15:00 16:07	14:00 15:10	15:00 16:02	14:00 15:00	13:40 14:44	14:40 15:48
出力1号機 (MW)	0	959	958	961	962	960	961	960
出力2号機 (MW)	937	952	951	960	961	960	961	960
取水口水温 (°C)	14.3	14.4	17.7	17.9	17.3	17.8	18.1	17.7
放水口水温 (°C)	20.6	20.5	23.6	23.7	24.0	24.1	24.3	25.5
取放水温度差 (°C)	6.3	6.1	5.9	5.8	6.2	6.4	6.0	5.7
放水量 (t/s)	95.3	124.7	124.7	124.7	124.7	124.7	124.7	124.7
天候	曇	晴	曇	曇	曇	雨	曇	晴
温排水拡散域 (注)	---	---	---	▲	●	---	---	---
	(17°C)	(18°C)	(19°C)	(18°C)	(18°C)	(19°C)	(20°C)	(19°C)

平成14年調査時から1・2号機 定格熱出力一定運転

(注) 温排水の影響域は、環境水温より1°C以上昇温した線で示す。

